

この本の使い方 ▶学習者の方へ

この本の目的

- ▶ この本は、CEFR / 日本語教育の参照枠 B1 レベルから B2 レベルへ進むことを目指す人のために作られています。
- ▶ 読む力と聞く力を伸ばしながら、考えを深める練習をすることができます。

構成とトピック

- ▶ この本は「読む×考える」と「聞く×考える」の2つのパートがあります。
- ▶ それぞれ1から40のトピックがあります。同じ番号はペアになっていて、関連したテーマを学ぶことができます。
- ▶ 「生活」「ニュース」「ビジネス・アカデミック」「エッセイ・ノンフィクション」「フィクション」の5つのジャンルがあります。どのジャンルも、前半はやさしく、後半は難しくなりますが、問題は全て独立しているので、好きな課から始めてもかまいません。

問題の形式

1つのトピックにつき、LEVEL 1～3の3段階の問題があります。

段階	目標	解答形式
LEVEL 1（内容確認）	文章や音声の基本的な内容を確認する	選択・○×・短答など
LEVEL 2（応用）	内容から考えて情報をまとめたり、 一歩進んで推測や考察をする	選択・短答など／記述 ※トピックによって違います
LEVEL 3（発展）	内容に関連して、自分の考え・意見を述べる	記述

記述問題について

- ▶ LEVEL 2・LEVEL 3の記述問題は、語学試験の問題とは違って、決まった正解がありません。あなたの考えやアイデアを自由に書いてください。
- ▶ 決まった正解のない問題に取り組むことで、自分なりの考えや意見を組み立てる力を育てることができます。
- ▶ 一人で考えて書くだけではなく、クラスメイトと相談や対話、議論をするのも面白いです。クラスでは、先生の指示に従って意見交換をしてください。

思考のロジック

LEVEL 2・LEVEL 3の問題には「思考のロジック」がついています。

- ▶ 問題を解く前に読んで、考える準備をしてください。
- ▶ 答えがわからないときや、アイデアが思いつかないときに参考にしてください。

- ▶ 答えがわかっていても、より論理的な解答の道筋^{みちすじ}を作るのに役立ちます。
- ▶ 自分だけの特別な意見やアイデアがあるときは、「思考のロジック」とは違う考え方をしても問題ありません。大切なのは、答えを選んだ理由を、自分できちんと説明できることです。

学習の進め方

「読む×考える」と「聞く×考える」の進め方は同じです。

- ① トピックのタイトル、読むページのレイアウトやデザイン、聞くページのイラストを見ます。どんな話が出てくるか想像してから、学習に入ります。
- ② 「読む時間」／「聞く時間」を確認します。
- ③ 「読む時間」／「聞く時間」を目安に、文章を読んだり、メモを取りながら音声を聞きます。
 - ▶ どちらも問題を解く時間は別です。
 - ▶ 音声が難しいと感じる場合は、2～3回聞いたり、ゆっくりの速度で再生してもかまいません。
- ④ LEVEL 1 の問題に答えます。
- ⑤ LEVEL 2 の問題と「思考のロジック」を読みます。問題の考え方を確認してから、答えを書きます。
- ⑥ LEVEL 3 の問題と「思考のロジック」を読みます。考えや意見を組み立てる方法を確認してから、答えを書きます。

※記述問題以外の解答は、各パートの最後にあります。

※記述問題は本冊には解答を載せていません。解答の道筋^{みちすじ}が合っているかを確認できる「解答例／解答のポイント」は、Web サイトからダウンロードできます。

音声・解答例のダウンロード

以下のファイルは、Web サイトからダウンロードできます。

- 「聞く×考える」の音声（ふつうの速度／ゆっくりの速度（0.8 倍速^{ばいそく}））
- 「聞く×考える」の音声スクリプト
- 記述問題の解答例／解答のポイント

<http://ask-books.com/yomukiku/>



* ご利用には、この本の一番最後のページの情報が必要です。

このページの内容は、ふりがなつき／英訳バージョンでも確認することができます。
下記 Web サイトの「この本の使い方（学習者の方へ）」からご覧ください。

<http://ask-books.com/978-4-86639-879-2/>

